— CAD SUPER FX 外部参照部品 —

~デモマニュアル~

まず、ファイル2枚(デモ(部品挿入①-1)、デモ(外部参照①))を開いて、 ウィンドウー並べて表示する。(任意に拡大する)

2 つの図面には、外部参照で配置された同じ部品があります。



次に実際に外部参照部品を変更してみましょう。

M1N				
ファイル場所( <u>P</u> ):	外部参照部品データ	▼		🚳 🖪 🕥 🕘 🔣
名前 V	~	<u>#17%</u>		
大月大日M4.fxs 練習1.EXS	5	59 KB		
			<b>A</b>	
			i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	
			ц.	
				_
•		<u> </u>		01
ファイル名( <u>E</u> ):	六角穴付M4.fxs		•	UK ++>>+b)
ファイル種別(近):	FX部品 (*.FXS)	•		
C:¥Cadsuper¥FE	SYM¥			

[ファイルー開く] ファイル場所:外部参照部品データ ファイル名:六角穴付 M4. Fxs 右側と左側の図面には、M4の六角穴付ボルトが配置されています。 そして、外部参照部品データを呼び出してこの部品を一部変更してみましょう。



この様に変更してからファイルー上書き保存で登録しておきます。(外部参照 部品(六角穴付 M4)ファイルを最小)

そして、現在開いている図面に対しては、部品-更新コマンドによって、

<mark>) インテリジェントドローイング</mark> ファイル① 図編集① 表示① 作図② 編集◎ 寸法① 文字③ <mark>部品②</mark> スクッチ仏 計測(M) テンブレート① ウィントウ(M) ヘルブ(H) ■ 【2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2】 2					
□【●】 ● [1] 21 2 (1) (1) 1					
図面選択(E): デモ(部品挿入①-1).FXD ▼					
部品階層リスト(L) 					
<ul> <li>● × 六角穴付M8 ×1</li> <li>● × 六角穴付M4 ×1</li> <li>「部品名称] 六角穴付M4</li> <li>【属性1】</li> <li>【属性2】</li> <li>【部品パス】</li> <li>C: ¥Qadsuper¥FESYM¥六角穴付M4.fxs この外部参照部品は、変更されています</li> </ul>					
チェックマークの付いている外部参照部品は、変更されています。 OKボタンを押すと、これらの部品を最新状態で図面に反映します。					

ご覧の様に瞬時に配置されていた部品が変更したまま、更新されることが確認いただけます。

それでは、その他の同じ外部部品が挿入されている図面を呼び出してみましょう。(デモ(外部参照②)ファイルを開く)

この時、外部参照部品の確認ダイアログが表示されるので、

外部参照部品の変更確認	<u>×</u>				
図面選択(E): デモ(外部参照②).FXD					
部品階層リスト(L)	部品詳細情報:				
▲ 六角穴付M8 ×1 ▲ 六角穴付M4 ×1 選択	【部品名称】 六角穴付M4 【属性1】 【属性2】 【部品パス】 C:¥Cadsuper¥FESYM¥六角穴付M4.fxs この外部参照部品は、変更されています				
チェックマークの付いている外部参照部品は、変更されています。 OKボタンを押すと、これらの部品を最新状態で図面に反映します。					

変更確認で OK を指示することにより最新状態で図面に反映されます。

(外部参照部品(六角穴付 M4)ファイルを開き、最後にウィンドウー並べて 表示で4枚並べる)(任意に拡大してみる)



同じ部品が同じ個所変更されたことが確認できると思います。